

### 3 - 13 関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果 (1997年10月～1998年4月)

#### Results of Continuous Observation by Three-Component Strainmeters and IBOSes in Kanto District (from October,1997 to April,1998)

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

前報<sup>1)</sup>に引き続き、最近の観測結果について報告する。

第1図及び第2図は、八郷1号機及び2号機による、1997年10月からの最近7か月間のひずみ変化を表したものである。第3図は甲府による同様のものである。前回と同様に今回もひずみ変化の観測結果を直接表示している。E1D, E2D, E3D及びDIL, SMAXの意味については以前の連絡会報<sup>2)</sup>を参照してほしい。

八郷1, 2号機においては、今までと同様に、ほぼ一様な収縮が継続している。4月下旬の僅かな変動は、4月中旬の降雨が時間遅れで効いていると推定される。

甲府では、全体としては収縮が継続している。

第4図、第5図及び第6図は、玄倉、平塚及び真鶴のIBOSによる本年4月までの7か月間の観測結果である。降雨の影響が玄倉において著しいのは、いつものことであるが、今回は11月の降雨量が例年になく大きかったので、その影響が顕著に現れている。

平塚において、ひずみと傾斜が4月に大きな変化を示しているのは、降雨によるものである。八郷の場合とは異なり、降雨の影響は時間遅れ無しに、直ちに現れている。

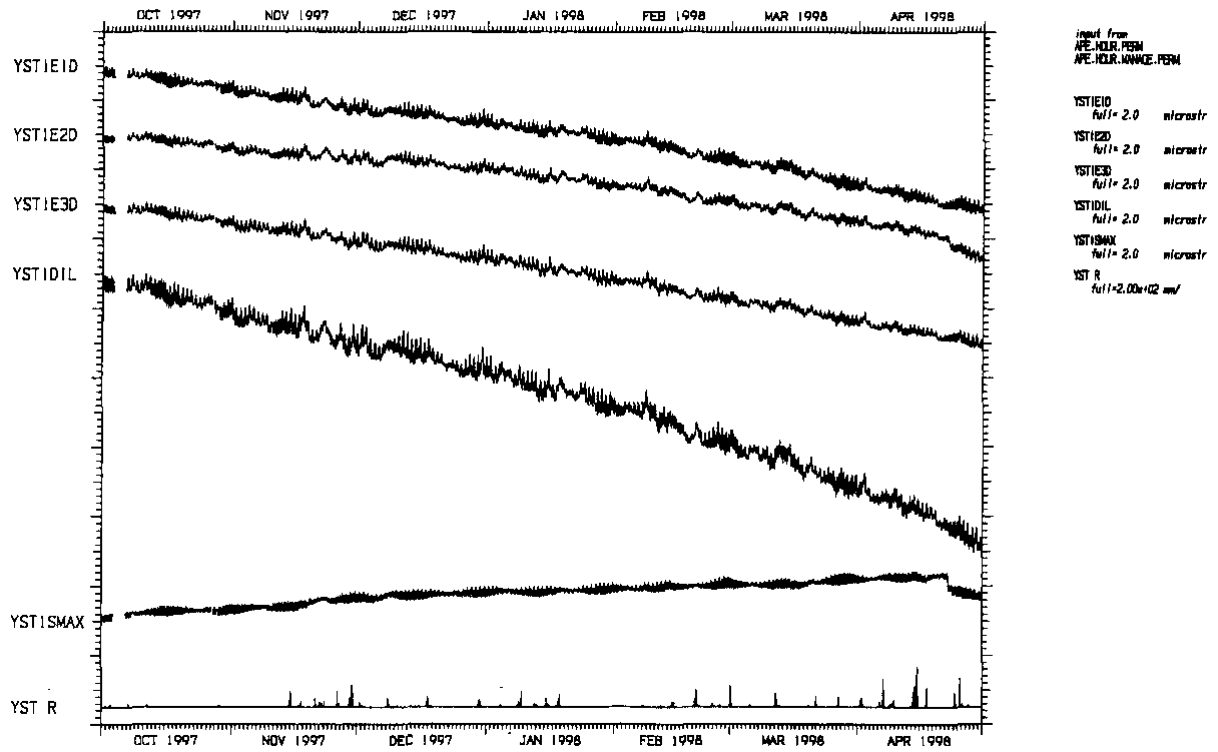
真鶴ではひずみ計が、ほぼ一様かつ他に比して大きな圧縮を受けてきていることは今までどおりである。この前までは、収縮の速さが、時の経過とともに減少してきていることがよく分かったが、今回は前回とほぼ同じである。すなわち、一次クリープの影響はほとんど消え、二次クリープ(定常クリープ)が卓越する段階に入ったといえる。なお、不規則に見られる傾斜のステップは、機器の不具合によるものである。

(坂田正治)

#### 参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果(1997年4月から10月まで)、連絡会報、59(1998)、191-194。
- 2) 防災科学技術研究所：関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果(1994年3月まで)、連絡会報、52(1994)、199-206。

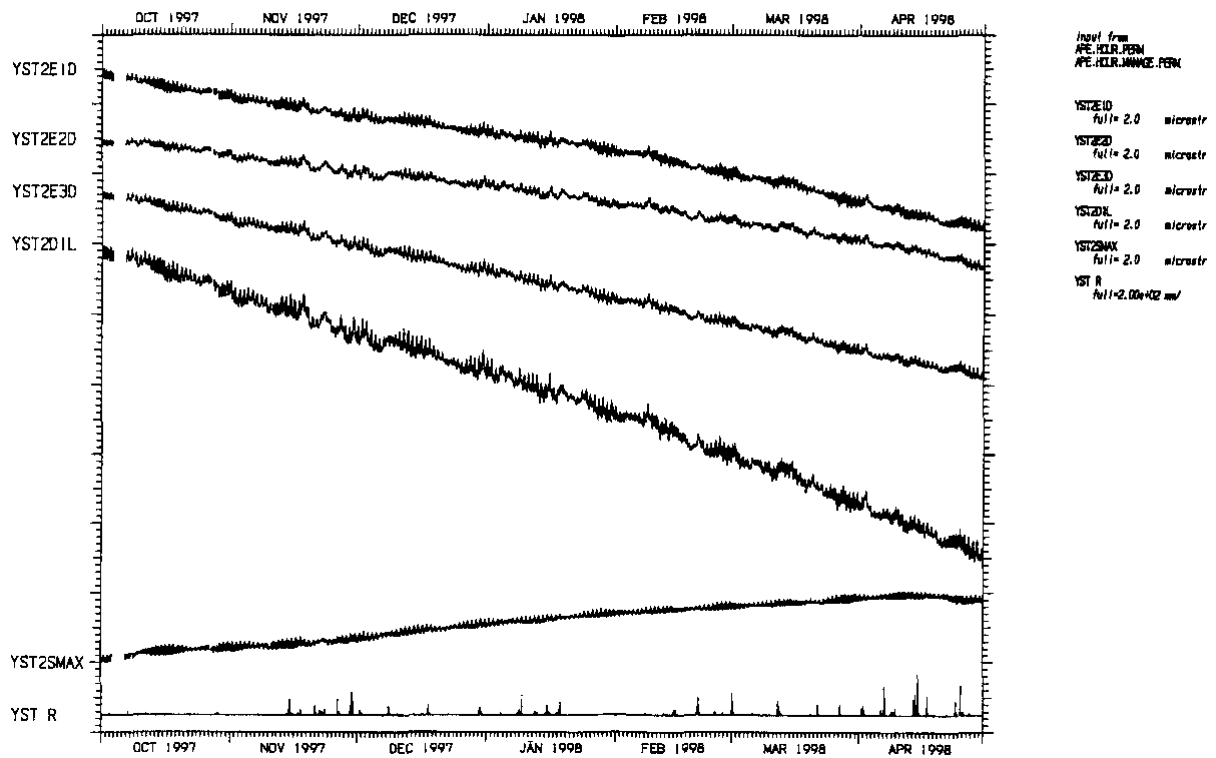
YST1 19971001 00 - 19980501 00 HOURLY DATA



第 1 図 八郷の三成分ひずみ計 1 号機による連続観測結果 (1997 年 10 月 ~ 1998 年 4 月)

Fig.1 Record of continuous observation by No1 three-component strainmeter at Yasato, E1D, E2D, E3D: linear strains along N00E, N60E, N120E, DIL: dilatation, SMAX: maximum shear, R: precipitation.

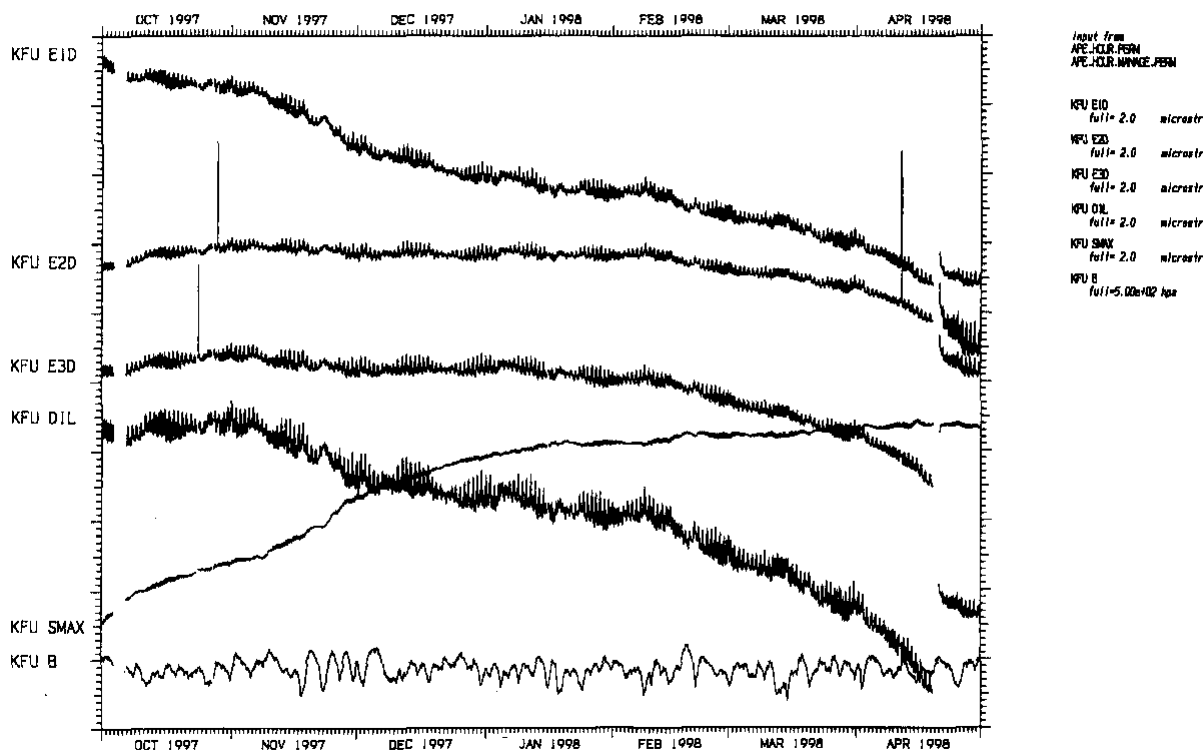
YST2 19971001 00 - 19980501 00 HOURLY DATA



第 2 図 八郷の三成分ひずみ計 2 号機による連続観測結果 (1997 年 10 月 ~ 1998 年 4 月)

Fig.2 Record of continuous observation by No2 three-component strainmeter at Yasato.

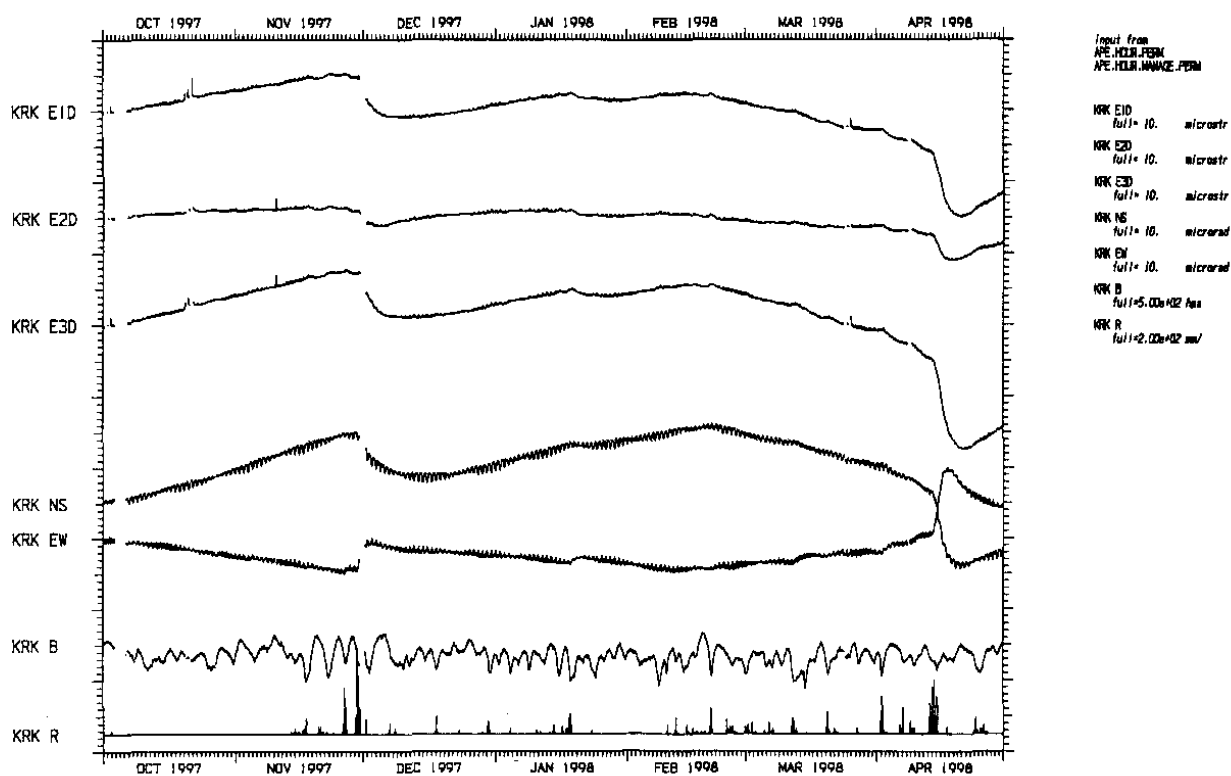
KFU 19971001 00 - 19980501 00 HOURLY DATA



第3図 甲府の三成分ひずみ計による連続観測結果 (1997年10月~1998年4月)

Fig.3 Record of continuous observation by the three-component strainmeter at Kofu, B: atmospheric pressure.

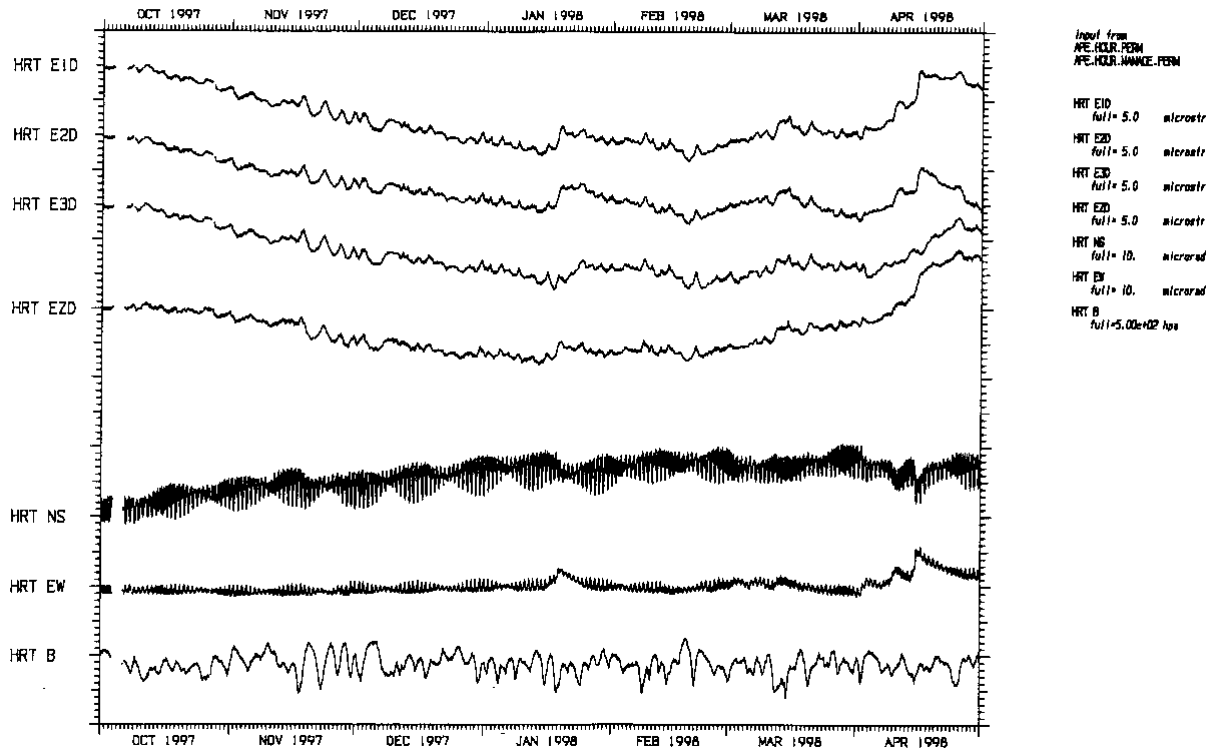
KRK 19971001 00 - 19980501 00 HOURLY DATA



第4図 玄倉のIBOSによる連続観測結果 (1997年10月~1998年4月)

Fig.4 Record of continuous observation by IBOS at Kurokura, NS, EW: tilt components.

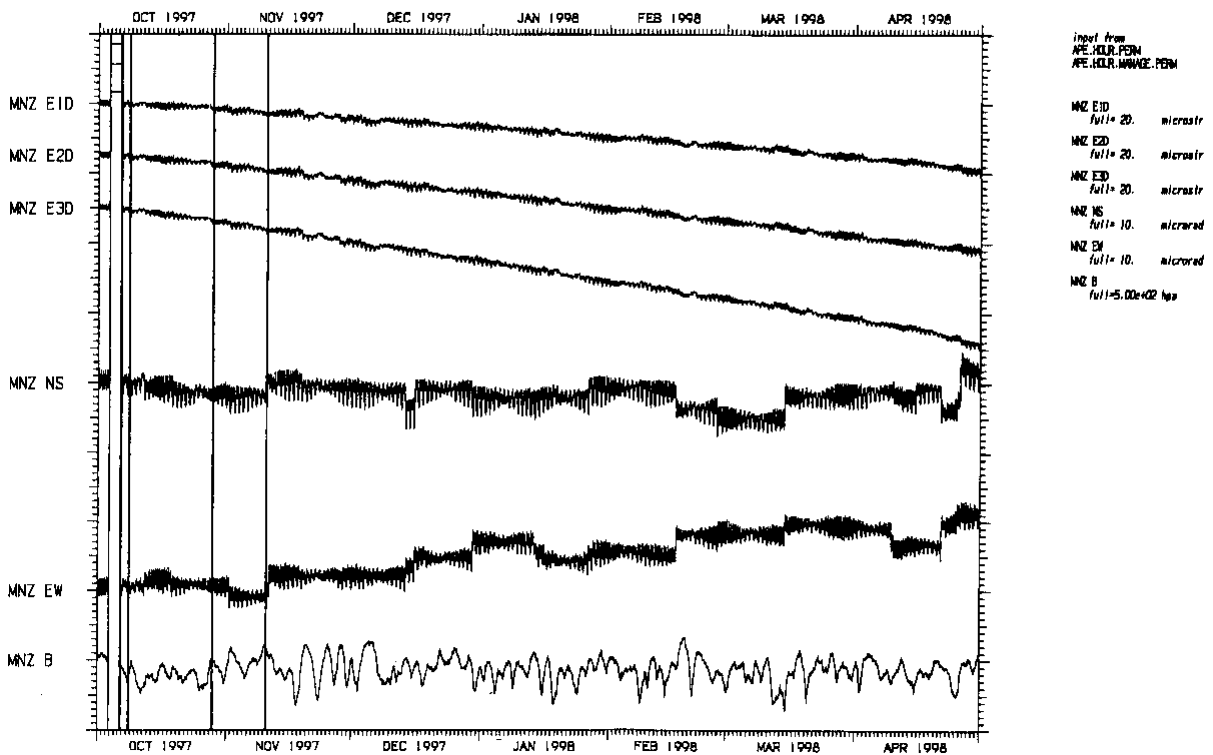
HRT 19971001 00 - 19980501 00 HOURLY DATA



第5図 平塚のIBOSによる連続観測結果(1997年10月~1998年4月)

Fig.5 Record of continuous observation by IBOS at Hiratsuka, E2D: vertical strain detected by axial strainmeter.

MNZ 19971001 00 - 19980501 00 HOURLY DATA



第6図 真鶴のIBOSによる連続観測結果(1997年10月~1998年4月)

Fig.6 Record of continuous observation by IBOS at Manazuru.